

# 富士精版印刷株式会社



代表取締役社長  
吉賀 文雄

大阪府  
大阪市淀川区西宮原  
2丁目4番33号

1950年(昭和25年)設立  
06-6394-1181

<http://www.fujiseihan.co.jp>

業界初の常温ワンウェイシステム等新技术を公開  
印刷業界に貢献

「技術向上第一主義」を掲げ、新技术・新製品開発に挑戦し、「完全棒積み」や「常温ワンウェイシステム」などを開発。開発技術・ノウハウを広く公開し、印刷業界発展に寄与

## 高品位印刷で顧客の満足度向上

同社は、来年創業60年を迎えるオフセットカラー印刷会社。デジタル化が進んだ印刷工程で、CTP（コンピュータによる印刷版への焼き付け）の出現を機に、微細な網点の密度で濃淡を表現するFMスクリーン技術による高精細印刷に取り組み、鮮やかで美しく諧調ゆたかな印刷物を顧客に提供。その技術で製作した同社カレンダーは、毎年高い評価を得ている。

医療に関するミスは重大で、ズレや色むらなどの印刷ミスが絶対に許されず、高い印刷技術が求められる医学書印刷も、同社が得意としている。



FMスクリーン技術による高精細印刷

## 棒積み印刷技術で省力化・高速化を実現

10数年の歳月をかけ、印刷機械・印刷用紙・インキ・水質状態・温度・湿度等の分析・研究を行い、枚葉オフセット印刷の完全棒積み1万枚に成功。印刷現場の省力化・省人化（2台2部制で20名から13名へと35%減少）を実現。

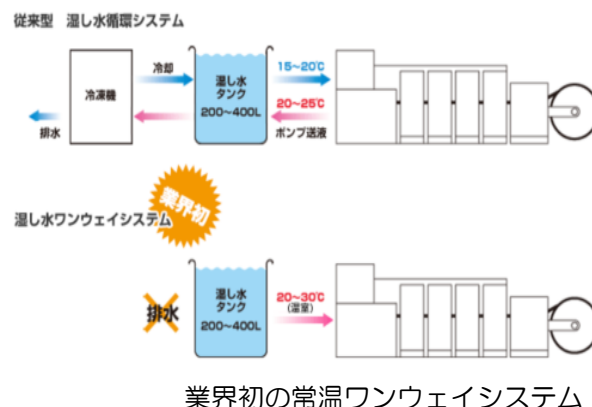
同社はこの技術を独占せず広く業界に公開し、印刷工場の生産性向上や枚葉印刷の高速化を可能とした。また、メーカーと共同で改良した紙揃え装置を取り付けて、さらに生産性を向上。



省力化・省人化の為の棒積み印刷技術

## 業界初の常温ワンウェイシステムによる環境対策

湿し水循環システムが一般的なオフ輪印刷で、業界で初めて常温（冷却なし）・ワンウェイ（循環なし）に成功し、廃液が出なくするなど環境への負担を軽減すると同時に、電気代節減等経済的な効果も出している。この技術もホームページ等で公開している。



業界初の常温ワンウェイシステム